

<浜松市：トランジットモール実証実験>

施策名	トランジットモール実証実験
取り組みの背景 地域の交通環境問題 行政・市民ニーズ 交通基盤シーズ など	背景 1：昭和 50 年代から都心部の活力が低下 背景 2：中心商業地が鍛冶町通り（幅員 36m）で分断され回遊がスポイルされている 背景 3：鍛冶町通りの自動車の約 90%が通過交通 背景 4：主要な公共交通であるバスの利用者が年々減少
目的・ねらい 目的・ねらい 対象交通 など	●目的・ねらい：都心部（約 37ha）を歩行者優先の地域に位置づけ、市民が回遊を楽しめる空間とする。  中心市街地の活性化 都心交通の整流化 公共交通への利用転換（環境への影響も） ●対象交通：自動車...ゾーン区域の通過を規制（整備した外周道路で対応） タクシー...ゾーン区域の通過を規制（整備した外周道路で対応） 物流車...特定時間内に荷捌きバースで対応 バ ス...トランジットモール区間は速度を 10km/h 規制 歩行者...区域内は歩行者優先のため横断等も自由化
取り組みの経緯 経緯・熟度 など	S56～…計画検討（中心市街地交通管理計画） S60 …計画策定 S61 …一部道路でモール規制の実験（3回）→本格実施 S61～…中心市街地交通権利計画推進懇談会にて段階的な実施を決定 外周道路（4～6車線）の整備 区域内道路のコミュニティ道路化・モール化 景観形成事業の実施 H09～…「中心市街地交通管理計画推進協議会」にて実験の検討 H10 …「トランジットモール試行」
主体・広報・費用 実施主体 検討組織 広報スケジュール 費用負担 など	●実施主体：浜松市 ●検討組織：中心市街地交通管理計画推進協議会（実験）懇談会（実施） 県、市、警察、交通事業者、商店街、学識経験者、商工会議所 自治会連合会、婦人団体協議会、青年会議所、鉄道事業者、タクシー協会 ●広報：H11.1 から地元説明会（約 30 回）広報誌（2 回）ポスター（3000 枚） 地元新聞掲載・店舗でのチラシ配布・ニュース特番（SATV） ●費用負担：約 6,000 万円 （一部事業で国土交通省都市局及び自動車交通局の補助有り）

実施概要 対象地域 実施日時 施策内容 など	●対象地域：浜松市都心部（鍛冶町通り周辺） ●実施日時：H11.3.15～H11.3.28（2週間） ●施策内容：鍛冶町通りのトランジットモール化 周辺道路の交通規制の変更（通過交通を制限） 郊外部におけるP&R及びP&BRも同時に実施
効果測定内容 測定内容 効果把握 など	●効果測定内容：交通量・渋滞長の測定 大気の測定 歩行者量の測定 地元商業者＆事業の意識調査 市民の意識調査 ●効果把握結果：交通の整流については一部箇所をのぞいて実現の目処 大気測定結果は良好 歩行者は実験期間内は減少 地元からは大反対を受けたが、来街者からは好評価を受けた
取組上の課題 合意形成 費用負担 など	課題1：市民（特に地元関係者）の合意形成 課題2：交通をさばききれなかった箇所の改良 課題3：トランジットモール化で発生した大きな歩道空間の活用方法 課題4：警察組織との合意形成 課題5：対象道路の管理体制及び方法
その他特記事項 今後の方向性 地域指定 等	現在は市民主導型の計画修正を行っている H12～…「鍛冶町通りを考えるオープンサロン」5回開催（実験の反省・評価） H13～…「鍛冶町ワークショップ」12回開催（市民による実施案の検討） H15.3…市民案（4案）の発表

以上

都道府県市名：静岡県浜松市
担当部局名：都市計画部交通政策課